

進級、新入園おめでとうございます。

3月に8名の園児を送り出し、4月からは新しく7名の新入園児を迎え、定員ちょうどの40名でスタートしました。

近年は特に0歳児、1歳児の入園が増えており、昨年度末には、保育園創立以来、初めて0歳児が8人となりました。さらに、もう1人、0歳児の入園のお申込み頂いていたのですが、「9人以上の0歳児を預かる場合は看護師を1人配置しなければならない」という決まりがあり、大急ぎで、看護師の求人をかけたのですが、見つからずに結局この4月までお待ち頂くことになってしまいました。

そんなわけで、もうすでにご存じ方も多いと思いますが、この4月から0・1・2歳児クラスの名称を変更しました。これまでは人数が少なかったため、0・1・2歳児で「すみれ」としていたものを、新しく「すくすく」と改名し、0歳児を「ひかり」、1歳児を「つぼみ」、2歳児を「すみれ」としました。

(3・4・5歳児については、これまで通り「きらきら」で、3歳児は「ひばり」、4歳児は「めだか」、5歳児は「つくし」です。)

ところで、わが園のクラス名、それぞれ、なんでこんな名前がついているんだろう？と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

「つくし」、「めだか」、「ひばり」、「すみれ」というのは、園の創立以来のクラス名で、“こどもさんびか”にある「つくしのよう」にちなんでつけられています。

つくしのよう　すくすくと　主イエスのこどもよ　のびていけ
めだかのよう　すいすいと　主イエスのこどもよ　すすみゆけ
ひばりのよう　空高く　主イエスのこどもよ　登りゆけ
すみれのよう　愛らしく　主イエスのこどもよ　咲きにおえ

新しくできた「つぼみ」と「ひかり」については、「つぼみ」という名称は以前にも0歳児がいるときに0歳児を「つぼみ」としたことがあったのですが、「すみれ」より小さいクラスということで花が咲く前のエネルギーをいっぱい溜め込んだ「つぼみ」をイメージして、今年度から1歳児の名称にしました。そして、0歳児の「ひかり」というのは、聖書の創世記に書いてある、

初めに、神は天地を創造された。
地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。
神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。

から、付けました。

この世に生命が誕生するというのは本当に素晴らしいことで、まさに赤ちゃんは「ひかり」のような存在だなあと感じます。

まだ、職員もついつい「すくすく」のことを「すみれさん」とか呼んでしまったりすることもあります。が、新しい名前をどうぞよろしくお願いします。

